



## 「地域猫活動」で宮崎県が感謝状 年間2000匹不妊去勢手術

2026年3月26日午後0時00分

「地域猫活動」で宮崎県が感謝状 年間2000匹不妊去勢手術2026年3月26日午後0時00分  
飼い主のいない猫に不妊や去勢の手術をして、地域で見守っていかうという「地域猫活動」。  
この取り組みに協力している公益財団法人「どうぶつ基金」に、宮崎県から感謝状が贈られました。

25日県庁で感謝状の贈呈式が行われ、「どうぶつ基金」の佐上邦久理事長が、河野知事から感謝状を受け取りました。

「どうぶつ基金」は、兵庫県に拠点を置く団体で、全国各地で、飼い主のいない猫の繁殖を抑えるため、無償で不妊去勢手術を行っています。

宮崎県内では、2021年以降、毎年2000匹以上の猫がこの団体の協力のもと、不妊去勢手術を受けているということです。

今回は、人と動物の共生に関する課題の解決に大きく貢献しているとして感謝状が贈られました。

懇談の中で、佐上理事長は各地で飼い主のいない猫が一定数いる現状を踏まえ、た。地域を絞って、重点的に不妊去勢手術を行う必要性を強調していまし

また、地域の人が野良猫を自宅で引き取るケースが増え、その結果、飼い猫が増えすぎて、適正な飼育ができなくなる「多頭飼育崩壊」も課題だと指摘していました。

この指摘について、河野知事は、行政としての対応も必要だという認識を示しました。贈呈式のあと、佐上理事長は、

「行政や地域住民、ボランティアが一丸となって、生き物に優しい宮崎県を目指し、取り組んでいきたいです」と話していました。